

Chatworkを使用したの 静岡県空き家・空き地NET運用

有限会社アスカエンジニア

静岡県空き家・空き地NETの目的 とChatworkの使用理由

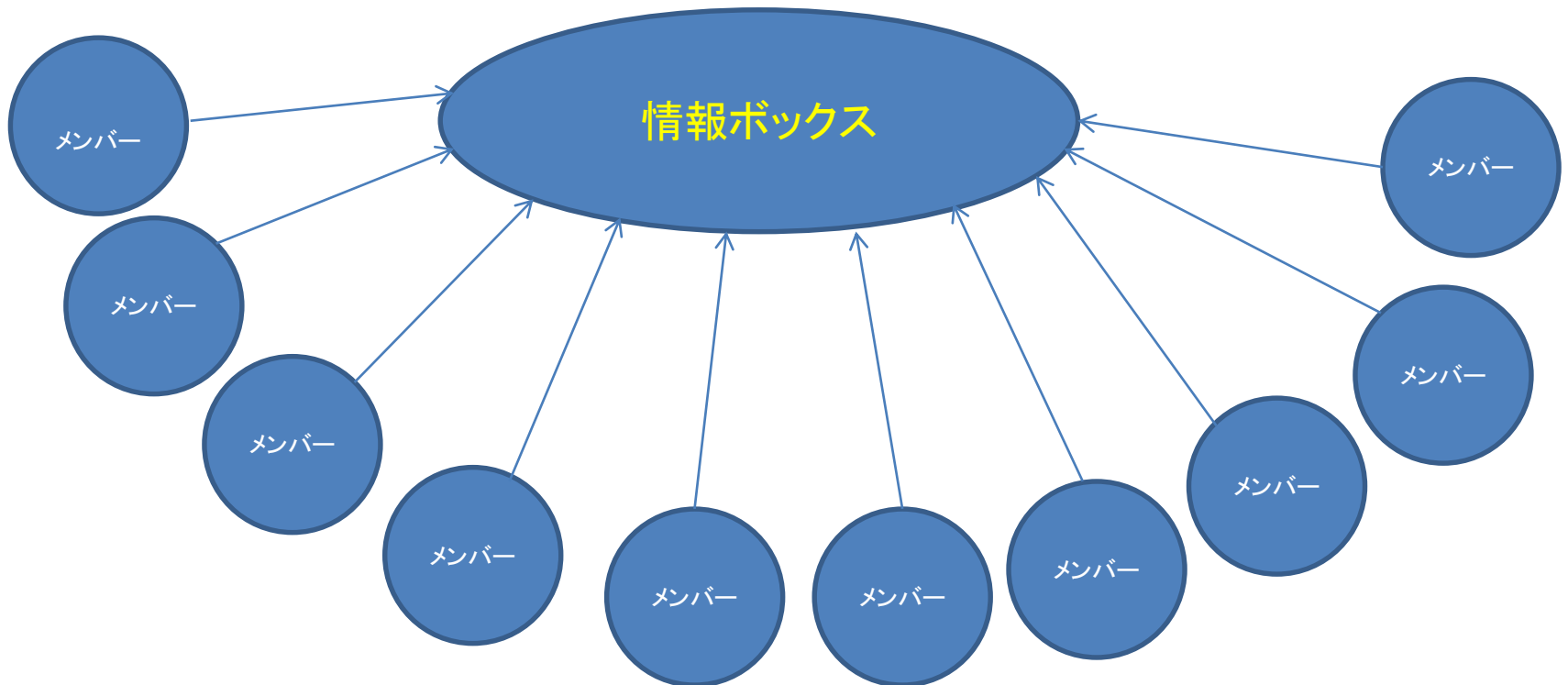
- 増加する空き家の相談者は、遠方に住んでいる方が多く、対面で相談することが出来なくて苦慮しています。
- 空き家問題は、多くの専門家が集い解決しなければなりません。しかし、専門家も頻繁に集うことが出来ません。
- SNSを活用する事で、その問題を解決できるようになります。

情報集収～プラン活用まで

- システム管理者は、契約者である(有)アスカエンジニアにて一元管理する。
- 案件情報発信者は、住所・地図・写真等を添付する。
- 案件情報を分析して、適任メンバーと共にプランニングする。この時点で、グループチャットやビデオ通話を利用し、リアルタイムで情報交換をする。
- 適任メンバーでプランニング実行する。チャットを使用してデータ等を相互にやり取りする。
- メンバーは、自社の業務(SNS等)で知り得た情報から精査して案件として発信する。

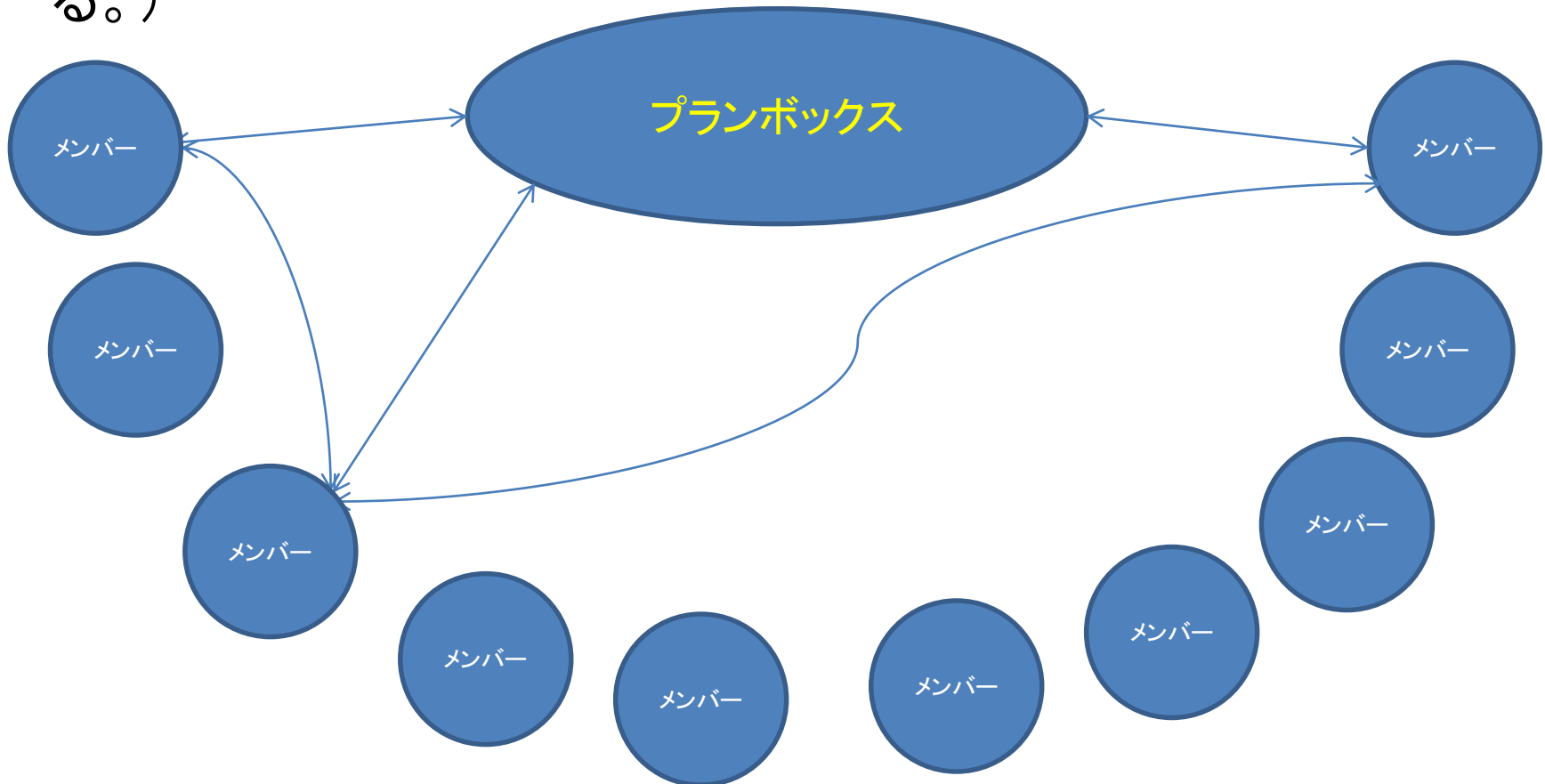
情報収集方法

- 空き家・空き地・耕作放棄地の情報を集める。
- 集めた情報は、メンバーで共有する。

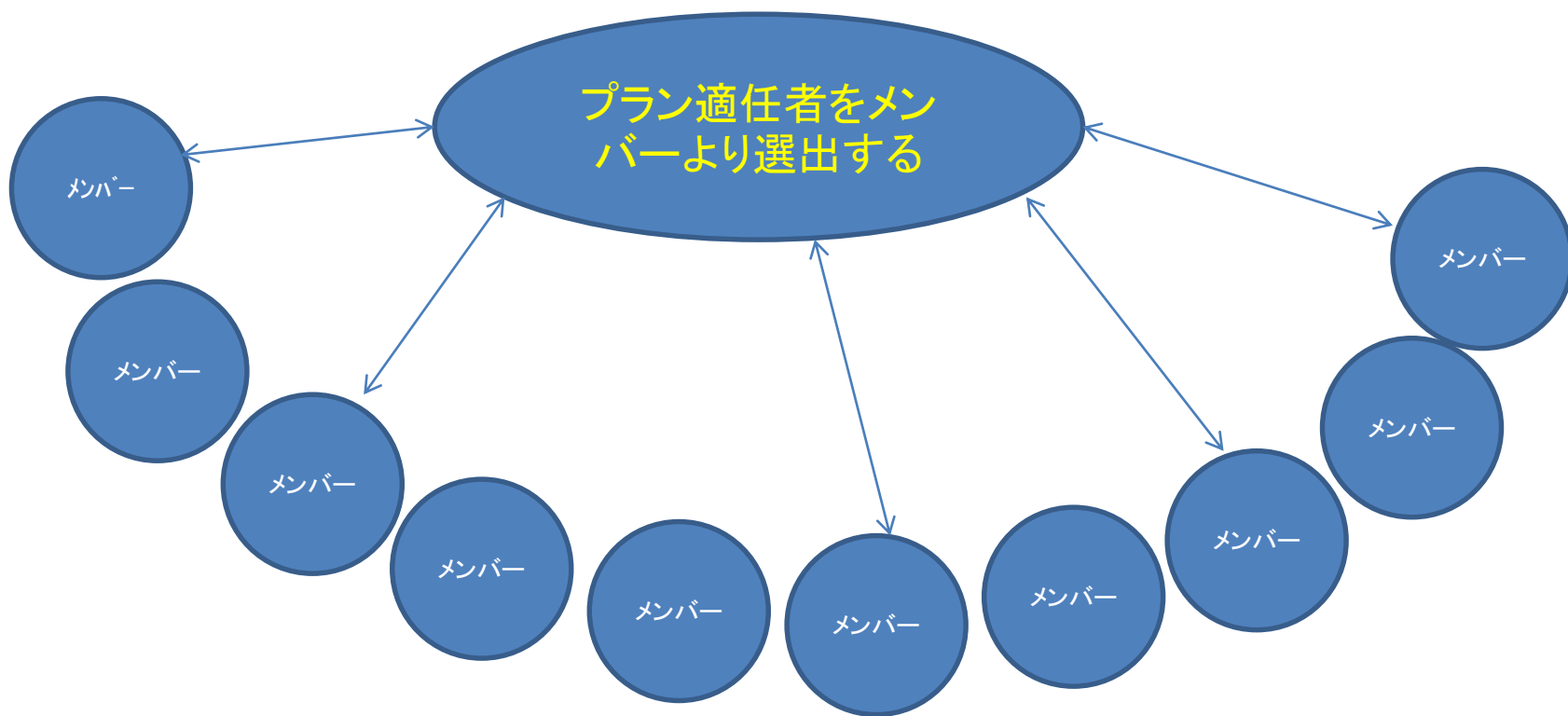


プランニングの考察・協議

- お客様に最適な方法で. 案件ごとにプランニングする。
- (プランニングは. 各メンバーより意見を見を出して協議する。)



プラン活用に適したメンバーを選出する。
選出されたメンバーはチームを編成し作業に掛かる。



Chatwork集合研修会

Chatworkの理解して、使いこなせるように勉強会を実施しました。

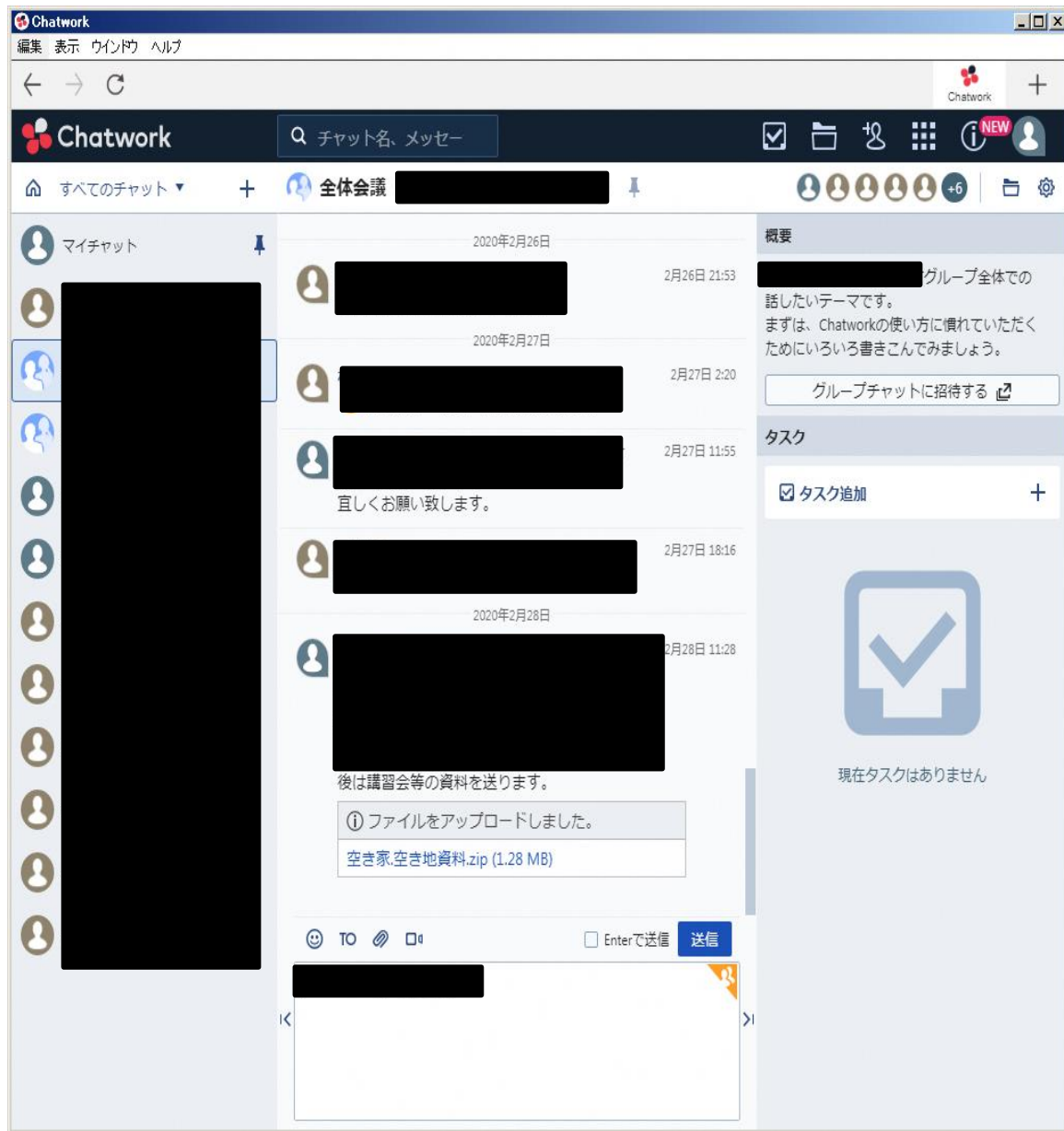
もっと難しい機能かと思っていましたが、LINEなどと同じで割とすんなり理解できました。



Chatwork実施例

会員の皆さんに、chatworkを実際に使ってもらいました。

登録をしてもらい、グループを作り会話をしてもらいました。



実施後の問題点・課題

- Chatworkを使った相談窓口を、空き家の所有者に知ってもらうための啓蒙活動を模索している。
- 行政との連携についてどんな形にするか協議する。
- 空き家を利活用したい人とのコンタクト方法。
- ネットワークの運営方法。

今後の展開

Chatworkで多くの空き家所有者の相談を受けて、空き家の情報をより多く得ることにより、空き家の活用を考えている個人・企業・行政・大学等への橋渡しをして地域の活性化、市街地の活性化、地域産業の発展に伴い、地域が元気になることで、会員メンバーのビジネスチャンスに結びつける事が可能になります。